

n 人でじゃんけんをしてあいこになる確率

Iga(rashi)

2009年1月5日

n 人でじゃんけんをしてあいこになる確率の求め方を3通り紹介します。

1

n 人でじゃんけんをしてあいこになるのは、 n 人でじゃんけんをし、勝ち組と負け組に分かれる場合の余事象です。勝ち組と負け組に分かれるのは、 n 人が出した手が2種類の場合に限ります。勝つ手を決めれば負ける手が決まるので、2種類の手の選び方は3通り。 n 人の2種類の手の出し方は、全員が同じ手を出さずの場合の2通りを引いて $2^n - 2$ 通り。したがって、求める確率は

$$1 - \frac{3(2^n - 2)}{3^n} = 1 - \frac{2^n - 2}{3^{n-1}}$$

2

1と同じで、勝ち組と負け組に分かれる場合を考えます。勝ち組と負け組に分かれるのは、 k 人が勝ち組に入るとすると、その k 人の選び方が ${}_n C_k$ 通りあって、どの手で勝つかで3通り。勝ち組の人数は1人から $n-1$ 人までの場合があるので、これらの和を取ることによって

$$\begin{aligned} & 1 - \sum_{k=1}^{n-1} \frac{3 \times {}_n C_k}{3^n} \\ &= 1 - \frac{1}{3^{n-1}} \left(\sum_{k=0}^n {}_n C_k - {}_n C_0 - {}_n C_n \right) \\ &= 1 - \frac{2^n - 2}{3^{n-1}} \end{aligned}$$

3

n 人でじゃんけんをしてあいこになるのは、グー、チョキ、パーの3種類が揃っている場合か、 n 人全員の手が同じ場合です。まずは前者について考えてみると、これは「グー、チョキ、パーの3種類を重複を許して n 人が出したとき、その中に3種類全てが揃っている場合」です。ここで、「 r 個の異なる物を重複を許して n 個並べたとき、その中に r 種類全てが揃っている場合の数」は

$$\sum_{i=1}^r (-1)^{r-i} {}_r C_i i^n$$

で表されます。そして、この公式に $r = 3$ を代入すると、

$$\begin{aligned} & \sum_{i=1}^3 (-1)^{3-i} {}_3C_i i^n \\ &= (-1)^{3-1} {}_3C_1 1^n + (-1)^{3-2} {}_3C_2 2^n + (-1)^{3-3} {}_3C_3 3^n \\ &= 3 - 3 \cdot 2^n + 3^n \end{aligned}$$

が得られます。次に後者について考えてみると、これは明らかに 3 通りです。よって、求める確率は

$$\begin{aligned} & \frac{3 - 3 \cdot 2^n + 3^n + 3}{3^n} \\ &= \frac{2 - 2^n + 3^{n-1}}{3^{n-1}} \\ &= 1 - \frac{2^n - 2}{3^{n-1}} \end{aligned}$$

となります。